

12月4日～10日は人権週間です

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心

あなたの考える人権って、どのようなものですか。一人ひとりが人として幸せに生きるために、私たちは何をすべきなのでしょう。この機会に、「思いやりの心」「かけがえのない命」について、もう一度考えてみませんか。

【問合せ】本庁市民課企画総務グループ 回23) 5111(内線2561)



尊重思想の普及・高揚を図るため、各種啓発活動が行われます。
まずは、一人ひとりの意識改革から始めてみませんか

「人権」とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」であり、「人間が人間らしく生きるために、誰もが生まれながらに持っている権利」です。

換言すれば、誰にとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守らなければならぬものです。
「人権」は、難しいものではなく、誰でも心で理解し、感じる事ができます。しかし、現実には保護者から虐待されて命を落とす子どもや、パートナー

の暴力などによる犠牲者が後を絶ちません。また、高齢であるから、障害があるから、生まれたところが違うから、外国人だからということだけで、いじめのない差別を受けている方々も少なくありません。

高度情報化社会の進展によって、インターネットを通じたプライバシー侵害や名誉毀損なども発生しており、社会の情報化、高齢化、少子化が進展するなかで、**人権はますます重要になっています。**

本市では、平成26年6月に策定した「薩摩川内市人権教育・啓発基本計画」に基づき、より効果的な人権教育・啓発活動を展開しています。

これは、家庭・学校・地域・事業所など、あらゆる場における人権尊重の環境づくりのため、市や関係団体との横断的な連携を深めながら、社会全体で意識改革につなげていくことを目的としたものです。

子どもたちの取り組み

「人権の花運動」は、鹿児島人権啓発活動地域ネットワーク協議会が昭和60年度から実施している啓発運動で、主に小学生を対象に実施校の指定を行っています。

花の種子や球根などを栽培する作業を通して、協力・感謝することの大切さを学びながら、情操を豊かにし、優しい思いやりの心を体得させ、ひいては、人権思想を育むことにつなげよう

とするものです。本年度は、川内小学校が同運動に取り組んでいます。

川内小学校での「人権の花運動」



「花(ひまわり)の栽培」



開会式(5月)



市内各地から

咲き誇る
キバナコスモス
(陽成町宮小平自治会内)

平成27年10月8日撮影



樋脇

ふじもと棚田米作り
昔ながらの稲刈り体験

10月10日(土)、樋脇町藤本地区において、「第5回ふじもと棚田米作り」の稲刈り体験が行われました。市内外から15人の参加があり、昔ながらの手刈りや掛け干し作業を体験しました。刈り取り後は、藤本産の食材を使った昼食が振る舞われ、参加者たちは笑顔で食事を楽しんでいました。



国民文化祭に向けて
可愛山陵などを清掃

10月17日(土)、可愛山陵清掃奉仕作業が開催されました。これは、第30回国民文化祭に向け、可愛山陵奉迎準備委員会の主催で行われたものです。亀山・可愛・育英の地区コミュニティ協議会をはじめ、小・中学生やボランティア団体などの協力も得て、参加者約70人で可愛山陵と新田神社の清掃が行われ、来訪者を迎える準備が整えられました。
【写真・記事提供】=可愛山陵奉迎準備委員会



楽しみが盛りだくさん
ごほうびマーケットin向田

10月17日(土)、向田商店街のほっぴい通りとliven+の2会場で「ごほうびマーケットin向田」が開催されました。テーマは「自分にごほうびを…」。



川内
兵六踊りの一場面を再現
個性たっぷりのかかし10体

10月6日(火)、湯田町の下湯田地区で、伝統芸能の兵六踊りを伝承してきた住民の有志により、踊りの場面を模した、かかし10体が設置されました。踊りは大人数で行うことから、数年ごとにしか披露できないため、身近にあるかかしを通して、広く知ってもらおうと取り組んだものです。



観て、食べて、体験して
国際交流フェスタ

10月10日(土)、国際交流センター・産業振興センター開設20周年と市国際交流協会設立10周年記念事業として、国際交流フェスタが行われました。記念式典では、子どもたちによる太鼓の演奏から始まり、フラメンコ・フラダンス・太極拳などのパフォーマンスが披露されました。また、世界の料理が味わえる屋台コーナーや、交流・体験コーナーなどもあり、多くの来場者でにぎわいました。